

喜界町図書館

図書館だより

〒891-6201 喜界町大字赤連小字樋口前30番地

11月号



【通算 第221号】

2014(平成26)年11月21日発行

TEL:0997-65-0962

FAX:0997-65-2523

e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp



図書館ミニフェスタ



日時 平成26年12月6日(土)

場所 喜界町図書館

内容 クリスマスのおはなし会

☆ 14:00~16:00

・図書館職員によるハンドベル

・ブラックシアター「お話の会ころころ」

・こども長編映画鑑賞会(ブラザー・ベア)

☆ 16:00~16:30

・ぬいぐるみのお泊まり会の受付

☆ 10:00~18:00

・古本市(無料または1冊20円)



毎月23日は、
子どもといっしょに読書の日

「本は家族の一員です！」

ぬいぐるみのおとまり会

平成26年12月6日(土)

活字離れと言われる子どもたちに、
ぬいぐるみが宿泊して図書館を体験
するという疑似体験をさせることで、
図書館をより身近に感じてもらうイ
ベントです。

対象者:3歳~6歳(未就学児)
のぬいぐるみが図書館で
おとまりします。

参加費:無料

定員:先着20名



申込期間:11月18日(火)より受付開始

申込場所:喜界町図書館カウンター

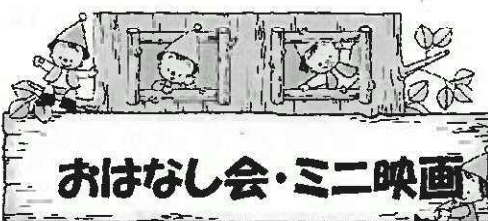
(12月) 図書館カレンダー



※ 〇は、休館日です。(毎週月曜日、第1木曜日)

開館時間 午前10時~午後6時

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	休館日			資料休館日		ミニフェスタ 古本市
7	8	9	10	11	12	13
	休館日			団体貸出 移動図書館 名保市図 子書で支援 甲府市図		おはなし会
14	15	16	17	18	19	20
	休館日	移動図書館 全学年回収		ブックスタート	子育て支 援来館日	おはなし会
21	22	23	24	25	26	27
	休館日					おはなし会
28	29	30	31	1/1	1/2	1/3
	休館日	年末年始休館(~1/3まで)				



おはなし会・ミニ映画

毎週土曜日 午後2時~2時40分

10月の統計

・貸出し冊数 2,768冊

・来館者数 1,054名

H26年度合計 22,312冊

H26年度合計 11,318名

(喜界島の謎・幻の時代)

これまで城久遺跡群の発掘調査状況の概観を記してきたが、まだ、遺跡の歴史的評価は定まっていないうである。八遺跡の内、本調査が実施されたのは七遺跡、その中で報告書を刊行し終えたのは二遺跡のみである。現時点で、これまでの調査成果や文献史学の成果などを織り交ぜて城久遺跡の歴史的な位置づけを行うことが許されるなら次のようにまとめた。古代の土師器・須恵器・初期貿易陶磁器などで構成される遺物組成からは他の南西諸島の島々と比べると本土色が極めて濃いたことがうかがえる。中でも国家的施設に偏在することが多いとされる越州系青磁が遺跡群全体で約100点出土していることから『日本紀略』にみられる太宰府が下知した「貴羅島」と現喜界島は関係があったのではないかとされている。

※『貴羅島』・・・・『日本紀略』長徳4年(998)9月14日条「太宰府言上す、貴羅島に南蛮を捕らえ進むる由を下知すと。」との記述があり、太宰府が貴羅島に南蛮を追討するよう命令を出したことがうかがえる。また、『小右記』長徳3年(997)の記述は南蛮=奄美島人であるとしている。」(永山修一「文献から見たキカイガシマ」(池田栄史編「古代中世の境界領域～キカイガシマの世界～」高志書院、2008年)145頁

中世に入ると、白磁などの中国産貿易陶磁器や滑石製石鍋の大量搬入、朝鮮系無釉陶器や初期高麗青磁といった朝鮮半島産陶磁器が出土する。このことから、宋・高麗を含む東シナ海域を舞台とした活発な交易活動の中で城久遺跡群が果たしていた役割は決して小さいものではなかったことが推察される。同時期、成立した徳之島カミィヤキ古窯跡群の生産・流通に関与した可能性も含めて、城久遺跡群が南島経営の拠点的機能を果たしていたと考えられる。

城久遺跡群の歴史的評価を行ううえで、重要な役割を果たすと思われる遺跡が島内で発見された。島の南側の海岸線にある手久津久集落に所在する川尻遺跡で、平成21年7月から11月まで行われた確認調査で兼久式土器を主体とし、ヤコウガイやチョウセンサザエ等の貝類・獣骨などが出土する包含層を検出した。この包含層からは広田上層タイプと類似する貝符が1点出土しており、島内では数少ない古墳時代併行期から古代にかけての遺跡である。これまでに、喜界島で発見事例の少ない城久遺跡群の前段階の様相を示す遺跡の発見は、城久遺跡群の歴史的評価を行ううえで重要であると考えられる。今後、城久遺跡群の調査成果のみならず、この川尻遺跡を始めとする島内全域を含めた検討を進め、喜界島が各時代において果たしていた役割を解明していきたい。

(文責：登山典壽)

【引用文献資料】 喜界島城久遺跡群の発掘調査 澄田 直敏 沖縄大百科事典 広辞苑
古代末期の境界世界～城久遺跡群と石江遺跡群を中心にして～ ヨーゼフ・クライナー、
吉成直樹、小口雅史 編

めあらしい本

《おとなの本》

☆「砂に泳ぐ」飛鳥井 千砂著 KADOKAWA
地元で働いていたが、やりがいを見つけれず東京へ行く決心をする主人公、彩也加。思い通りにならない現実をもがきながらも前に進もうとするひとりの女性の成長物語。

☆「一人っ子同盟」重松 清著 新潮社
一人っ子がめずらしかった昭和のあの頃、兄弟のいないぼくらは小6の春、小さな同盟を結んだ。

☆「心中しぐれ吉原」山本 兼一著 角川春樹事務所
後が満開の頃、文七の女房のみつが男と心中した。みつの心中がどうしても納得できない文七は、ひとり探案をはじめが。。

☆「3時のあつこちゃん」柘木 麻子著 双葉社

☆「ほんとうの花を見せにきた」桜庭 一樹著 文藝春秋

☆「火桜が根 幕末女志士多勢子」藤本 ひとみ著

☆「地球上の全人類と全アリンコの重さは同じらしい」

椎名 誠著 早川書房

☆「フオルトウナの瞳」百田 尚樹著 新潮社

☆「なぜ日本の災害復興は進まないのか」

～ハンガリー赤泥流出事故の復興政策に学ぶ～

家田 修著 現代人文社

《子どもの本》

☆「都ギツネの宝」富安 陽子著 偕成社

キツネ一族から不思議な力を受け継いだユイ、タクミ、モエ。300年前にうしなわれた都ギツネの宝をさがすために、夜叉丸おじさんといっしょに京都の町を駆けまわることになったユイたちの冒険。

☆「うそだあ！」サトシ文 文芸堂
バナナの皮をむいたら、チョコバナナ……。思わず「うそだあ」といいたくなるおはなしがまんさい。

☆「なみだの穴」まはろ 三桃著 小峰書店
泣くだけ泣いたら元気がもりもり湧いてくる子どもと涙にまつわるお話。6話を収録。

☆「ねこのピート だいすきなよつつのボタン」

ジェームス・ディーン絵 ひさかたチャイルド

☆「まいごのおばけしりませんか？」むかい かよ著

☆「さがし絵で発見！世界で国くに16 オーストラリア」

こどもクラブ編 あすなる書房

☆「3人のまじよドラゴン」

～あくまのデクノボッチ～ おおとも やすおさ

偕成社

